令和５年度　第１回千葉市中央区公民館運営審議会議事録

１　日時：

令和５年７月１２日（水）１０時３０分～１１時３５分

２　場所：

千葉市松ケ丘公民館　講堂　（千葉市松ケ丘町２５７－２）

３　出席者：

（１）委員

伊藤正美委員（委員長）、飯島正幸委員（副委員長）、甘利新造委員、綾野恭子委員、伊藤芳仁委員、井上かおり委員、大野芳江委員、佐藤美枝子委員、鎮守哲郎委員、桝田博司委員、三橋一裕委員、村松英司委員、吉川清美委員

（２）事務局

ア　生涯学習振興課

課長 内海、主査 積田

イ　千葉市教育振興財団

公民館管理室 室長補佐 中村、主査 久保田

松ケ丘公民館長 大塚、生浜公民館長 石川、新宿公民館長 迎、宮崎公民館長 桶田、葛城公民館長 平野、末広公民館長 佐々木、椿森公民館長 加藤、川戸公民館長 藤澤、星久喜公民館長 若海、松ケ丘公民館副館長 中山、主事 積田

（３）傍聴人 １人

４　議題：

（１）報告事項

ア　令和４年度千葉市中央区公民館利用状況について

イ　令和４年度千葉市中央区公民館事業報告について

（２）協議事項

ア　令和６年度千葉市中央区公民館事業計画について

５　議事の概要：

（１）報告事項

ア　令和４年度千葉市中央区公民館利用状況について、松ケ丘公民館長から報告を行った。

イ　令和４年度千葉市中央区公民館事業報告について、松ケ丘公民館副館長及び各地区館長から説明を行い、質疑応答があった。

（２）協議事項

ア　令和６年度千葉市中央区公民館事業計画について、委員より意見を伺った。

（３）その他

特になし

６　**会議経過**：

（１）開会

・委員１３名全員の出席があり、千葉市公民館管理規則第１６条第１項に規定されている過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立。

・千葉市情報公開条例第２５条に基づき会議を公開（傍聴者１名）、議事録も公開。

（２）委員長挨拶

（３）生涯学習振興課長挨拶

（４）議事

伊藤(正)委員長が議長を務め、議事に入った。

①　報告事項 ア 令和４年度千葉市中央区公民館利用状況について

会議資料に沿って、区内公民館９館の利用状況、区内１館の公民館図書室の利用状況について、松ケ丘公民館長が説明した。

≪質問・意見≫

特になし

②　報告事項 イ 令和４年度千葉市中央区公民館事業報告について

会議資料に沿って、中央区各公民館の事業について、松ケ丘公民館副館長及び各地区館長から報告を行った。

≪質問・意見≫

甘利委員　　生浜公民館のNO18「デートDV」の意味、「子どもを守る」という意味を教えて頂きたい。

石川館長　　デート DV とは、交際中の恋人同士の間で起こる暴力であるドメスティックバイオレンスのことをいう。大人も理解をして、子供たちがデートDVで嫌な思いをしない、あるいはそういうことはないだろうかということで見守っていく必要があると考えている。

舛田委員　　（全体の感想として）家庭教育は、昔と違い今の育児にはストレスを感じている人や教育に困っている人が多い中、とても良い講座であり、今後も継続して実施してもらいたい。少年教育は、多くの各公民館で夏休み講座を実施し、成果を挙げている。成人教育は、応募率などの数字では多い少ないはあるが、応募が少ないからといって不要な講座であることは言い切れない。各講座で、終了後にきちんと反省をして、ここがちょっとまずかったのかとかいう振り返りを行い、次年度につなげていただきたい。

また、各公民館の事業報告を聞くと、非常に講座を細かく分析されている。なかには、

ユニークな講座もある。葛城公民館の県立千葉中学校生徒と連携した講座N07では、中学生が活躍しているということで、今後の発展を楽しみにしている。

綾野委員　　末広公民館のN051指導者・利用団体代表者研修会について聞きたい。

佐々木館長　　指導者や利用団体の代表者の方々が集まり、協議し、話し合うような内容である。

③　協議事項 ア 令和６年度千葉市中央区公民館事業計画について

≪質問・意見≫

大野委員　　公民館情報誌について、今後紙面の制約がなければ、各公民館の特色ある講座を取り上げ、受講者の感想が入った記事があると、より親しみやすく手にとってもらえるのではないか。

中村補佐　　今回（６・７月号）より公民館情報誌をリニューアルし、これまでより紙面・ページ数を増やした。今後、予算の都合はあるが、最終ページの紙面等を工夫するなどして、頂いたご意見の反映が可能か検討していきたい。

伊藤委員長　　運営審議会資料の文字が小さく、読みづらい。資料のあり方については今後検討してもらいたい。

松村委員　　中央区はオンライン講座については積極的に取り組んでいるようだが、公民館全体ではオンライン講座については､今後どのような見通しを立て､取り組んでいくつもりか。

中村補佐　　現在の指定管理期間の最終年度（令和８年３月）の目標として、オンライン講座１００事業を掲げている。令和４年度の実績は４７講座である。全公民館で一律に実施することの難しさはあるが、今年度はさわやかちば県民プラザや千葉市生涯学習センターと連携したオンライン配信講座を増やしている。遠方で実施している講座を、近くの公民館で視聴することができるような仕組みをつくっている。公民館職員のオンライン講座推進のためのスキルアップとしては、機器等の操作研修を実施する予定である。

（５）閉会